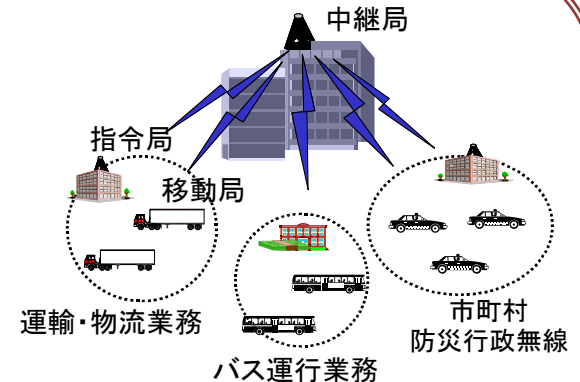


MCA無線局、簡易無線局、衛星携帯電話 等

MCA無線局

- ◆ 中継局を中心に半径30km程度のサービスエリアを持つ(出力40W)移動通信システム。
- ◆ 多数のユーザーで複数の周波数(800MHz帯)を共同利用し、複数の回線から空きチャンネルを選択して接続。
- ◆ 携帯電話と比較して輻輳のない通信や、同報機能により一斉指令通信が可能。
- ◆ 昭和57年にサービス開始。平成29年3月末、利用局数は全国で約16万局。



運営主体

中継局は、(一財)移動無線センター(MRC)が運営

特徴

- ・一斉指令 : 指令局から同報機能で複数の移動局に一斉指令
- ・グループ通信 : 複数の移動局のグループで通信を行う機能
- ・移動体管理 : データ伝送機能を付加することにより、指令局において、常に全ての車両位置や状態把握が可能

簡易無線局

- ◆ ハンディタイプや車載タイプの無線機により、1km~5km程度の通信が可能な無線局(出力5W以下)。
- ◆ 無線従事者資格が不要で、運送、流通サービス、建設現場等での作業員の連絡や、レジャーの際における連絡等の簡易な通信に利用することができ、全国で約100万局が利用。
- ◆ 音声通信だけでなく、データ通信も可能。
- ◆ 周波数を共用する通信システムなので、使用する周波数(チャンネル)によっては輻輳や混信の可能性がります。



衛星携帯電話

- ◆ 通信衛星を経由して電話サービスが提供されます。
- ◆ VSAT、ワイドスター、イリジウム、最近ではアイサットフォンなどの小型な衛星携帯電話サービスもあります。
- ◆ 通常の携帯電話では、通話が不可能な山岳地帯や砂漠地帯、海上や孤立地帯などで利用できます。
- ◆ 電話するときは衛星方向に障害物のない場所を選ぶことが必要となるので着信時は注意が必要です。



VSAT(小規模衛星通信設備)

- ◆ 小型パラボラアンテナを使用して通信衛星経由でデータや電話サービスを利用できます。
- ◆ 技術開発により小型化がすすみ、また通信費を含む全体コストについても衛星携帯電話と変わらないものもあります。



IP電話

- ◆ インターネット経由で固定電話や携帯電話に電話できます。
- ◆ 従来はパソコンに接続していましたが、最近では電話機単体で直接LANに接続できるものもあります。
- ◆ インターネットに接続できる環境さえあれば、どこからでも電話でき、VSATと組み合わせれば、近隣の固定電話や携帯電話が使用できない場合も電話することができます。

